



# 上向台小だより

2月号  
西東京市立上向台小学校  
令和6年2月1日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>



## 学校・家庭・地域が一体となり子どもたちの豊かな心を育むために

副校長 河又 学

「ざわざわ森のがんこちゃん」、「のびのびノンちゃん」、「あつまれじゃんけんぽん」、「バケルノ小学校」、「さわやか3組」、見たことのある番組はありますか？テレビが見られるということで、道徳の時間が楽しみだったことが思い出されま

す。  
さて、その道徳に関して、道徳教育は第二次世界大戦以前、「修身」という名で行われていました。終戦後、GHQの民主化路線によって「修身」は撤廃され、学校教育全体を通じて道徳教育が行われことになりました。昭和33(1958)年、学習指導要領との改訂とともに、公立の小中学校では週1時間の道徳の時間に、学校全体を通じて行われる道徳教育を補充・深化・統合することになりました。それが、これまでの「道徳」の時間と言えます。

その後、平成23(2011)年に発生した滋賀県大津市での中学生いじめ自殺事件などの社会問題を受けて、小学校では平成30(2018)年度、中学校では令和元年(2019)年度から、「特別の教科 道徳」が実施されるようになりました。

これまでの「道徳」との主な変更点として、

- ①教科外の活動から、「特別の教科」になったこと
  - ②内容項目が追加、変更されたこと
  - ③考え議論する道徳になったこと
  - ④記述式の評価を行うようになったこと
- などが挙げられます。

まず①についてですが、どうして「特別」という言葉が付いているのでしょうか。それは、国語や算数などの教科とは、異なる点があるからです。小学校ではなじみが薄いかもかもしれませんが、「特別の教科 道徳」は、道徳科の免許をもった教員が指導するのではなく主に学級担任が行うため、「特別」という位置付けになったのです。

- ②の内容の項目については、
- A：主として自分自身に関すること
  - B：主として人との関わりに関すること
  - C：主として集団や社会との関わりに関すること
  - D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

の4つに大別され、さらにそれぞれの項目を見直し、低：全19項目、中：全20項目、高：全22項目に細分化されました。(A：善悪の判断、自律など、B：親切、思いやりなど、C：規則の尊重など、D：生命の尊さなど)

③については、これまで多くの道徳の授業では、読み物資料(教材)を基に主人公などの気持ちを考えさせ、それを書かせたり、発表させたりすることに終始していたことが課題とされています。その他にも、教師が道徳的価値を指導する意識が強過ぎる

あまりに教師の意図に誘導して反応を得ようとする、子どもの主体性が見られない授業も多くありました。そこで、教材や常識から答えを見付けることのできないような自分で「考え」ざるを得ない発問や、解決の方法や対応の仕方、言動などが多様になり、理由を明確にして選択せざるを得ない発問を基にした「議論」を大切にするようになりました。

④については、道徳は人間性に関わるものなので、数値(1、2、3)や記号(◎、○、△)のような評価はなじみません。そこで、学習状況や成長の様子を基に、「認め、励ます評価」を記述式で行うようになりました。主な観点としては、

- ・自己を見つめることができたか
- ・物事を多面的・多角的に考えることができたか
- ・自己の生き方について考えを深めることができたか

です。また、1単位時間のみの評価ではなく、学期ごとや学年などの一定のまとまりで、児童の学びや成長を評価しています。

これら道徳に関連して、2月10日(土)に「道徳授業地区公開講座」を予定しております。この道徳授業地区公開講座は、学校、家庭及び地域社会が一体となって子どもたちの豊かな心を育むとともに道徳教育の充実を図ることを目的として、平成10(1998)年度から都内公立小・中学校等で開催しています。

### <道徳授業地区公開講座の趣旨>

- 意見交換を通して、学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育を推進する。
- 道徳科の授業を活性化するとともに、質の向上を図る。
- 道徳科の授業を公開することにより、開かれた学校教育を推進する。

当日は、「GIGAワークブックとうきょう」の資料を用いながら、「特別の教科 道徳」の授業を下のおり公開いたします。

- 低学年  
「つかいすぎていないかな」(節度、節制)
- 中学年  
「使いすぎていないかな」(節度、節制)
- 高学年  
「自分と相手のちがい」(相互理解、寛容)

授業後には、「スマホ、もっと自由に使わせて！」という動画を視聴した後、「子どもたちが正しい判断や行動ができる人になるために、大人にできることは何か」をテーマに意見交換会を行います。私たち大人ができることについて、ぜひ一緒に考えていただきますよう、御参加をお待ち申し上げます。